



千曲坂城消防
Chikuma Sakaki Fire Dept

広報

しょうぼう

2022

No.47

令和4年3月1日



その先にある

未来のために。



【今年の表紙】

今年度の秋の全国火災予防運動では、長野県と管内にゆかりのある「ご当地キャラ」が大集合！幅広い世代に火災予防を訴えました。

令和4年2月1日現在

	人口	世帯数
千曲市	58,479	22,256
坂城町	14,389	6,140
合計	72,868人	28,396世帯

発行：千曲坂城消防本部 長野県千曲市大字磯部 1221 番地 編集：消防本部 総務課
電話：026-276-0119(代) FAX：026-276-9119 E-mail：chikumasakaki@fdcs.or.jp



管内の人口と世帯



第42

防火ポスター展



今年度も児童等の防火意識の高揚と火災予防思想の普及を図ることを目的に「第42回防火ポスター展」が開催され、管内の幼稚園・保育園と小学校から合計338点もの多数の力作が出品されました。

審査会では丁寧な色彩の作品や心に残る標語など力作が数多く、審査員は皆一様に頭を悩ませていましたが、「園児の部」23点、「小学生の部」28点を選出されまし



令和4年3月1日～7日は「春の全国火災予防運動」週間です。

今年はツ

ご当地キャラが大集合！ 一日消防長・消防署長事業を実施！

令和3年11月9日（火）秋の全国火災予防運動に併せ「一日消防長・消防署長」事業を実施しました。

一日消防長は、長野県のキャラクターである「アルクマ」が、一日消防署長は、各署の地域で活躍する「あん姫」（千曲市）、「ねずこん」（坂城町）、「ヤシロウ」（千曲商工会議所）が務めました。

任命式後、一日消防長と消防署長は管内の幼稚園・保育園を訪問し園児に火災時の対応や火災の恐ろしさなどを伝えました。

その後は、商業施設、公共施設などを訪れ、地域の皆様に広く火災予防と住宅用火災警報器の設置等について呼び掛けていました。

我々職員はこれからも、「地域の火災ゼロを目指して」火災予防に積極的に取り組んでいきます！



みなさんもう一度確認を！

避難指示で必ず避難！



警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

警戒レベル4 避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3 高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	避難指示※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。



Evacuation Information (Revised)



Scan to get this information in your own language.  
English 簡体中文 繁體中文 한국어 Español  
Portuguese Tiếng Việt ภาษาไทย ภาษาไทย  
Tagalog Bahasa Indonesia नेपाली भाषा Монгол хэл QR Translator.

## 大規模災害に備える 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練



令和3年10月11日、緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練を実施しました。

長野県が10年ぶりに主催となった本訓練は、長野県東部を震源とする震度6弱の地震が発生、管内も甚大な被害が発生した想定で行われました。

本来であれば1都9県の消防機関から緊急消防援助隊として各部隊が出動し、実践さながらの訓練が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況から訓練内容を見直し、WEB会議システムを活用した状況予測型図上訓練として実施されました。

訓練では、総務省消防庁、長野県庁及び関係消防機関相互の迅速な情報共有に加え、関係機関との連携強化や情報伝達能力の強化につながり、今後の新しい災害対応の有効性とあり方を確認することが出来ました。

## 第39回長野県消防救助技術大会が開催されました

陸上の部

水上の部

### 『ほふく救出』と『基本泳法』が優勝！

令和3年6月19日、長野県消防学校(長野市)において、「第39回長野県消防救助技術大会」が2年ぶりに開催されました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が見送られましたが、今年度は一般公開を行わず、徹底した感染防止対策のなか開催され、県下13消防本部から数多くの隊員が挑みました。

当本部からは、陸上の部3種目10名と、水上の部1種目2名が出場し、陸上の部では「ほふく救出Aチーム」(3名)が、水上の部では「基本泳法」(1名)が優勝しました。



※上位大会である関東大会及び全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

## 緊急消防援助隊活動報告

### 令和3年7月 静岡県熱海市伊豆山土砂災害



千曲坂城消防本部では、令和3年7月3日静岡県熱海市伊豆山地区で発生した大規模土砂災害現場へ、7月12日から20日までの9日間、緊急消防援助隊(救助小隊)を派遣しました。



#### 長野県隊と当本部の出動状況

月日	長野県		千曲坂城消防本部	
	隊数	隊員数	隊数	隊員数
7/12	22	94	1	5
7/13	25	105	1	5
7/14	25	105	1	5
7/15	25	104	1	5
7/16	25	104	1	5
7/17	25	104	1	5
7/18	25	105	1	5
7/19	25	105	1	5
7/20	25	105	1	5
合計(延べ)	222隊	931人	9隊	45人

～この災害によりお亡くなりになられた方々の、ご冥福を心よりお祈りいたします～

#### 【緊急消防援助隊】

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を教訓として、大規模災害が発生した都道府県のみでは対応が困難な場合に、全国の消防機関相互の応援による迅速かつ効果的な人命救助活動等を目的に、同年6月創設され、全国を6ブロックに区分しています。長野県は1都9県で構成される関東ブロックに所属しています。



# NEW 消防車両のご紹介

新しく配備された消防車両をご紹介します

## 「救助工作車」

更埴消防署配備  
(令和4年2月14日配備)

近年、毎年のように全国各地で発生している自然災害。また、今後発生が危惧される大規模地震など、大規模災害に対処するため、更埴消防署に令和4年2月14日、救助工作車が配備されました。

この救助工作車にはクレーンやウインチ、油圧救助器具等はもちろんのこと、救助用ボートや船外機など水難救助資機材も積載しており、各種災害へ迅速出動し活動します。

また、県外で発生した大地震などの災害時には「緊急消防援助隊」の「救助部隊」として出動します。



## 令和4年度救命講習会日程 「あなたはどの講習を学びたいですか？」

【普通救命講習Ⅰ又はⅡ】 <i>成人の心肺蘇生法を学びたい</i>				【上級救命講習】 <i>もっともっと色々学びたい</i>			
成人に対する心肺蘇生法・AEDの使用法などを学びます				心肺蘇生法、AED、外傷の手当、搬送法、傷病者管理法などを学びます			
開催年月日		開催場所		開催年月日		開催場所	
令和4年	4月9日(土)	戸倉上山田消防署	8:30～12:30	令和4年	7月18日(月)	戸倉上山田消防署	8:00～17:00
	6月9日(木)		13:00～17:00				
	8月9日(火)		13:00～17:00				
	9月3日(土)		8:30～12:30				
	10月9日(日)		8:30～12:30				
	11月8日(火)		13:00～17:00				
	12月9日(金)		13:00～17:00				
令和5年	1月9日(月)	戸倉上山田消防署	8:30～12:30	【応急手当普及員講習Ⅰ】 <i>職場で心肺蘇生法を指導したい</i>			
	2月9日(木)		救命に必要な知識、実技、指導要領などを学びます				
	3月9日(木)		13:00～17:00	開催年月日		開催場所	
				令和5年	1月13日(金)	戸倉上山田消防署	各日とも 8:30～17:30
					20日(金)		
					27日(金)		
*普通救命講習Ⅰは3時間、普通救命講習Ⅱは4時間となります。				*講習時間：3日間（上記日程全ての受講が必要です） *テキスト代：@3,400円+消費税（予定）			
【普通救命講習Ⅲ】 <i>子どもの心肺蘇生法を学びたい</i>				【応急手当普及員再講習】 <i>普及員修了から3年</i>			
小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法、AEDの使用法などを学びます				応急手当普及員講習Ⅰを修了し3年以上経過した方が対象です			
開催年月日		開催場所		開催年月日		開催場所	
令和4年	5月20日(金)	戸倉上山田消防署	9:00～12:00	令和4年	8月19日(金)	戸倉上山田消防署	9:00～12:00
	11月12日(土)				12月10日(土)		

*e-ラーニング（Web講習）の受講状況により開始時間が異なります。（応急手当普及員講習Ⅰ及び再講習を除く。）  
 *定員は各日とも18名となります。  
 *新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止または定員数を縮小する場合があります。

**新人編** **じつはわたしたち消防吏員です** 

～様々な場面で活躍する職員を紹介します。今回は今年度採用の消防士です～

**「安心安全のゴールに向かって」**

坂城消防署 田玉修也



**【現在】**

私は昨年4月1日に消防士を拝命、現在は坂城消防署にて当直勤務に就き、日々訓練を行いながら災害に備えています。また、係は査察指導係に在籍し、主に事業所の立入検査や消防用設備の検査等の業務を行っています。毎日が学ぶことばかりですが、先輩方のご指導を受けながら頑張っています。

**【一生の仲間と出会えた場所…それは消防学校】**

採用されても直ぐに消防士として活動できるわけではありません。消防の基礎を学ぶため消防学校へと入校します。学校は全寮制。約半年間におよぶ厳しい学校生活と寮生活では、県内の仲間らとともに、時に笑い、時に悩み、互いに励ましあいながら学校生活を過ごしました。この半年間の消防学校生活は、同じ志を持った一生の仲間と出会えた最高の場所となりました。



隊長として指揮を執る田玉

**【サッカーから消防へ】**

私は元消防士であった叔父の影響もあり、幼いころから消防が大好きでした。しかし、そんな消防と同じく大好きだったのは「サッカー」です。私は小学1年からサッカーを始め、高校時代は市立長野高校でゴールキーパーとして、3年生ではキャプテンそして部長として、サッカー一筋の毎日を過ごしていました。

しかし、私が高校2年の秋、地元にあの大災害が起こりました。まだ記憶に新しい「令和元年東日本台風」です。外は大雨と暴風。全てが初めての体験でした。しかし、ふと窓から外の様子を伺うと、そこには危険な現場で懸命に活動する消防士の姿が…この災害は私があらためて強く消防を志すきっかけとなりました。



サッカー一筋高校時代



同期と登山

**【信頼される消防士を目指して】**

現在私はサッカーからは一線を退いていますが、やっぱりサッカーは大好きです。公休日などには、職場の先輩方とフットサルで汗を流しています。また、最近は今後の消防活動に活かそうと、登山やキャンプなどアウトドアも始めました。私は、今後、サッカーで培った体力と精神力を活かしながら、信頼される消防士を目指し、地域そして住民の皆様の安心安全のゴールに向かって、全力で職務に邁進していきたいと思ひます。住民の皆様、今後とも宜しくお願いします。

**第三十七回危険業務従事者叙勲**

山崎 一氏 瑞宝双光章  
丸山隆夫氏 瑞宝单光章 を受章

第三十七回危険業務従事者叙勲において、当本部元消防長の山崎一氏(千曲市)が瑞宝双光章を、元消防署長の丸山隆夫氏(坂城町)が瑞宝单光章を受章されました。

山崎氏は昭和46年4月に旧更埴市消防本部にて消防士として拝命され、警防課長などの要職を経て消防長職に就くなど、約40年間にわたり住民福祉と安寧秩序、そして消防本部の発展に尽力されました。

丸山氏は、昭和46年4月に旧坂城戸倉上山消防組合において消防士として拝命、数々の要職を経て消防署長職に就くなど、約40年間にわたり地域住民の生命、身体及び財産を災害から守り、地域防災と消防本部の発展に大きな足跡を残されました。



山崎氏(左)千曲市長とともに



丸山氏(右)坂城町長とともに

**編集後記**

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が落ち着きを見せ、ようやく収束かと期待された昨年、今度は新たな変異ウイルスが世界各地で発生し、その影響はまだまだ続きそうな状況です。

一方、今年度は多くの皆さんが自宅でスポーツ観戦を楽しんだのではないのでしょうか。様々な問題を抱えたなか開催となった「東京オリンピック」。そして、先月開催された「冬季北京オリンピック」とまさにオリンピックイヤー、多くの感動を与えてくれました。そんな中、米大リーグでのエンゼルス「大谷翔平」選手の活躍は、同じ日本人として誇らしく、暗いニュースばかりの日本を明るくさせてくれました。

来年度こそは、そんな明るい未来を想像し、笑顔の毎日を過ごしていきたいでしょう。私達の未来には「明けない夜はない」のですから…。

**令和3年火災・救急・救助**

火災件数	42件	(+6)
救急件数	3,454件	(+191)
救助件数	36件	(+14)

*救急件数は出動件数を示す * ( ) 前年比